

全日本フェンシング選手権

女子フルーレ団体3位、男子サーブル団体4位

全日本フェンシング選手権が12月2日から5日まで、岡山県・玉野市総合体育館で行われ、女子がフルーレ団体で3位、男子もサーブル団体で4位と健闘した。

平田京美主将(経済4・羽島北高)は「香川クラブとの準決勝は、序盤にリードを許し、あせってしまった。チームワークを大事にしていけないといけないと改めて思った。この大会を最後に4年次生が抜けるが、みんなの意識が高まってきているので、来年は優勝を目指して頑張ってもらいたい」と語った。

また、男子サーブル個人で寺田直生(法4・埼玉栄高)が6位に入賞した。
(矢口 蘭・文2)

全日本学生選抜卓球選手権訪問

女子単でトウ舟がベスト8

全日本学生選抜卓球選手権が12月4、5日、愛知県の枇杷島スポーツセンターで行われた。専大からは3選手が出場し、女子シングルスでトウ舟(商2・中越高)が、ベスト8入りを果たした。

予選をブロック1位で通過したトウ舟は、決勝トーナメント初戦で今年度関東学生優勝の大正大・孫博と対戦。「出来るだけ自分から攻めること」を心がけ、第1セットは圧勝したものの、残るセットを連取され、セットカウント1-4で敗れた。「課題はフットワークの強化。さらに上位を目指して頑張ります」と語った。

(橋本 麻未・経済1)

スプリント1000で辻本祐樹が優勝

全日本学生スピードスケート選手権

全日本学生スピードスケート選手権が12月11、12日、群馬県伊香保リンクで行われ、スプリント1000mで辻本祐樹(経済3・白樺学園高)が1分13秒84で優勝した。シーズン当初は氷の感触がつかめず、苦戦したが、試合を重ねるごとに調子を上げ、ついには優勝をもち取った。辻本は「調子が上がってきたのでホッとしている。勝てて良かった」と語った。これをきっかけに、多くの勝利を重ねてほしい。

(澤田 和輝・法1)

田島・田中ペアが優勝

関東学生バドミントン新人選手権

木村・梨木は準優勝、三五・鶴見はベスト4



関東学生バドミントン新人選手権が11月6日から12月4日まで、日体大健志台米本記念体育館で行われ、ダブルスで田島朝美(経営2・聖ウルスラ高)・田中里実(商2・埼玉栄高)ペアが優勝を果たした。

また、木村綾(経営1・金沢向陽高)・梨木春花(商1・金沢向陽高)ペアが準優勝、三五優理(文2・真岡女子高)・鶴見麻衣(経営2・大和西高)ペアがベスト4入り、団体でもベスト4と健闘した。この勢いで春季リーグ戦も上位を目指して頑張ってもらいたい。(伊東 明希・文2)

ライトウェルター級で川内将嗣が準優勝

全日本アマチュアボクシング

11月28日に岡山ドームで行われた全日本アマチュアボクシング大会のライトウェルター級で川内将嗣(商1・佐賀龍谷高)が準優勝を果たした。

決勝も僅差の判定負けで「試合前のケガで十分な練習を積んでこれなかったのが悔しい」と話し、「この悔しさをバネに来季はさらにパワーアップして優勝を狙いたい」と熱く語ってくれた。¥揃え(右)(伊東 明希・文2)

次節へ夢をつなぐ — 1部復帰はならず —

関東大学ラグビーリーグ戦

関東大学ラグビーリーグ戦の1、2部入れ替え戦が12月11日、熊谷スポーツ文化公園で行われ、2部2位の専大は1部7位の中大と対戦。接戦の末、15-22で敗れ、1部復帰の夢は叶わなかった。

仲宗根弘明監督は「やるべきことはしっかり出来ていた。選手たちのレベルは確実に上がってきている。また一からやり直す」と語った。(矢口 蘭・文2)

124校が激戦 専大はベスト8

秩父宮賜杯全日本大学バレーボール選手権

秩父宮賜杯全日本大学バレーボール選手権が12月6日から12日まで、東京体育館ほかで行われ、専大はベスト8入りを果たした。

124校がトーナメント形式で優勝を争った今大会。1～3回戦をいずれもストレートで突破、4回戦も天理大を3-1で下し、準々決勝へコマを進めた。準々決勝の順天堂大戦は序盤から相手ペースの試合展開。しかし第3セット、20-22からピンチサーバーの中原貴典(経営3・佐賀商高)がサービスエースを決め、さらに大事な場面で堀川敏夫主将(商4・安来高)の鋭いスパイクで逆転。このセットをものにしたが、流れをつかみ切れず、1-3で敗退した。

堀川主将は「良い形で後輩につなげることが出来た。今大会のメンバーには、来年中心になる選手もいるので、もっと上位を狙ってほしい」と話した。

(橋本 麻未・経済1)

アイスホッケー関東大学リーグ戦(1部)

8位でリーグ戦を終了

11年ぶりとなる関東大学リーグ戦(1部)を戦い抜いたアイスホッケー部。5勝8敗の8位という結果でリーグ戦を終えた。「2部リーグとはスピード、パワー、技術どれをとってもレベルが違った」と盛健太主将(法4・白樺学園高)が語るように、シーズン前半はなかなか勝てなかったが、1部のゲーム展開に慣れた後半は勝利を重ね、5勝を挙げた。リーグ戦を終え、盛主将は「もっと勝てたと思う。後輩たちにはこの経験を生かし、上位を狙ってほしい」と話した。確かな手応えをつかみ、勝利に対する貪欲な姿勢を見せた復帰1年目。今後の活躍に期待が持てる。

(澤田 和輝・法1)

東洋伝拳法部が創部35周年

OB・OGら約60人集う



11月27日、東洋伝拳法部の創部35周年記念式典が千代田区の九段会館で行われた。大学関係者、全日本学生キックボクシング連盟関係者、OB・OGら約60人にご出席いただき、体育会OB会長で陸上競技部OB会長の繁住敏郎氏、全日本学生キックボクシング連盟の松田大三会長をはじめ、多くの方にご祝辞をいただいた。

この式典で部員たちも35年という歴史の重みを肌で感じ、先輩方と共に、50年、100年と伝統をつなげていけるように、「今」を頑張ることを決意した。

(伊藤渉主将=経営3・松山東高)

大塚有理子さん<ゴルフ部OG>涙と歓喜の初優勝

ゴルフ部OGでプロ7年目の大塚有理子さんが女子ゴルフツアー・伊藤園レディス(11月12~14日、千葉県グレートアイランド倶楽部)で涙と歓喜の初優勝を遂げた=写真。

初日は雷雨で中止となり、2日間36ホールで争われ、通算4アンダーで回り、服部道子プロとのプレーオフへ。日没迫る4ホール目までもつれ込む熱戦を、最後はバーディーで振り切った。

12月21日には港区の高輪プリンスホテルで、優勝祝賀会が開催された。

スポーツカレンダー

- ◇アイスホッケー部
- ◇スピードスケート部
- ◇フィギュアスケート部

▽国民体育大会冬季大会 1月30日~2月3日(甲府市)

- ◇スキー部

▽朝里川温泉スラローム競技会 1月21~23日(小樽市)

- ◇フェンシング部

▽ユニバーシアード競技大会第1次選考会 1月29、30日(東京厚生年金スポーツセンター)

▽ナショナルチーム最終選考会 2月11~13日(同右)

- ◇陸上競技部

▽神奈川マラソン大会 2月6日(横浜市磯子)

国際大会出場選手

- ◇アイスホッケー部

伊藤 慶介(商2・日光高)IIHF世界U20選手権(12月29日~1月12日=ルーマニア・ブカレスト)※日本代表

- ◇スキー部

清澤 恵美子(経営3・歌志内高)

清野 大輔(経営2・高山高)ユニバーシアード競技大会(1月12~22日=オーストリア・インスブルック)

- ◇

全国都道府県対抗駅伝に座間が出場

- ◇陸上競技部

座間 マボロベネディック(商1・藤沢翔陵高)第10回全国都道府県対抗男子駅伝競走(1月23日=広島市)※神奈川県代表

【ニュース専修2005年1月号11面】